

NVC Monthly

同好会ニュース

寝屋川映像同好会会報

第58号(201405)

発行 竹田幸男



竹下さん「龍應山西明寺」より

例会の窓

平成26年4月例会

日時：平成26年4月18日(金)

13:30～16:30

場所：寝屋川市民活動センター4階 子供部屋

出席者：新井 小林 竹下 竹田 谷 田淵 (50音順・敬称略)

欠席者：3名

例会次第

1. 各会員の最近の活動状況・情報交換

- ・特に編集技術を習得しつつある人の状況
- ・アドビ・プレミアエレメンツ12の講習会をやるか、どうか。

2. 田淵氏から前年度の会計報告資料を配付した。

3. 報告・連絡・協議事項

(1) 会報筆者 新井さん

(2) 次回撮影会

- ・実施日：5月19日(月) 雨天の場合は5月22日(木)
- 集合場所：ハーバーランドの海側 集合時間：11時
- アクセス：JR神戸駅下車 海側へ歩いて数分。

(3) 映像フェスティバルの準備

- ・今年5月31日(土)実施、今日プログラムを配布する。

(4) 第3回文化連盟展

- ・5月25日(日)
- ・映像協会として4作品。今日、プログラムと入場券配布する。
(前売り参加協力券800円 会員は、500円)

(5) 同好会ビデオ作品発表会

- ・平成27年3月14日に向けた準備を開始。会場が混んでいるということで、目的の日に取れるかどうか、田淵氏が会場の様子を探ることとなった。

(6) 例会作品の映写方法は、どうするか。DVDは機器を確保している。BDプレイヤーは、安価な品があるというのは間違いで1万円程度である、ということがわかった。買うかどうか検討する。DVは新井さんがカメラを持ってきて置いておくということで、持ち回りを廃止する。

4. 映写・合評

(1) 竹下さん ヨセミテ国立公園 晩夏の再訪 9分45秒

- ・前は人工音声であったが、ナレータによる作品となり、見違えるほど効果が上がった。

(2) 竹下さん 西明寺、金剛輪寺 紅葉 9分

- ・紅葉の季節、湖東三山のうちの二寺を探訪。まだ編集途中ということで、完成を期待したい。

5. 会員の当面する問題点質疑応答

6. 来月の開催日 5 / 9 (金) 13時30分 ワーキングスペース



三島由紀夫の「潮騒」の映画で、感じたこと

新井 正直

三島由紀夫の「潮騒」に描かれる歌島のモデルは、伊勢湾口に浮かぶ神島で、人口千四百、周囲一里に充たない小島である。

青山京子〔1954〕・吉永小百合〔1964〕・小野里みどり〔1971〕・山口百恵〔1975〕・堀ちえみ〔1985〕をヒロインに、過去に5度映画化され、いずれも神島でロケが、行われた。

この五作品は、今年4月14日の録画で完了し、作品を観くらべました。

この五作品の原作は、三島由紀夫で、スタッフ・キャスト等を、まとめた。

制作年度	1954	1964	1971	1975	1985
監督	谷口千春	森永健次郎	森谷司郎	西河克己	小谷承靖
脚本	中村信一郎 谷口千春	棚田五郎 須藤勝人	井手俊郎	須崎勝弥	剣持 亘
キャスト	青島京子 久保明	吉永小百合 浜田光男	小野里みどり 朝比奈逸人	山口百恵 三浦友和	堀ちえみ 鶴見辰吾
上映時間	96分	82分	88分	93分	101分
配給会社	東宝	日活	東宝	東宝	東宝
フィルム	モノクロスタグ・ド	カラーワイド	カラーワイド	カラーワイド	カラーワイド

第1作品 昭和29年度芸術祭参加作品のストーリー

映像のスタートは、島の全景の画面でタイトル・スタッフ・キャストが出る。蛸壺漁で働く久保新治の姿になる。ある夕暮の浜で、見知らぬ少女に会う。新治は、監的哨に、まきを取りに行き、その少女に会う。

この家とは、聞かれ、新治は監的哨と言って、旧陸軍の施設で、大砲の弾を見張っていた所と教え、お互いの名前・年齢を教え合う。

給料日に、宮田照吉の舟を、陸に上げるのを初江と共に手伝う。

新治は、弟の修学旅行の費用を渡そうとした時、給料袋がない事に気づき、浜へ探しに行く。初江は、新治の給料袋を拾い、新治が浜で探している所へ、初江が現われ、おかあさんに渡したことを告げる。

新治は、初江に、川本安夫が婿に入るのかを聞いたら、初江は、大笑いした。

灯台長の家で、家事を手伝っていた初江は、おくさんの娘〔千代子〕からの手紙で、新治さんのことが好きみたいと言った。初江も、それを聞いていた。

新治は、先に帰ったと思っていたが、途中で待っていた。新治が初江に呼びかけたが、無視して下っていった。初江は、千代子の事で、怒っていた。

新治が、何でも無いと言うと、初江は、灯台長の家に何故、魚を持って行くのと聞いた。新治は、中学を卒業出来ないとき、灯台長が、学校と掛け合って卒業出来た、お礼と言った。

嵐の休日に、監的哨で会うことを約束した。休日に、新治が、早く着いて、濡れた衣服を乾かすため、焚き火をし、暖かくなって、眠っていたとき、初江も、ずぶ濡れになって到着した。初江は、衣服を脱いで、乾かしていると、新治が目覚まし、初江の裸を見た。初江から恥ずかしいと言われ、新治も裸に成り、焚き火を超えて来いと、初江が言った。

二人が抱き合ったとき、初江が、こんな事したらあかん、嫁入り前の私は、新治の嫁さんに成るまで、イカンと言った。浜に下りて、二人で泳いだ。

千代子は、新治に憧れていたから、新治と初江が、仲良くしている姿を見て、嫉妬し、安夫に話した。

修学旅行から帰った弟は、インディアンの映画を観て、その真似をして遊んでいた友達から新治と初江が、乳繰りよったと言われ、母に聞いた。

噂は、みんなに知られ、照爺にも知られた。新治に会えなくなった初江は、蛸漁の船長に、手紙を渡した。その手紙には、家の前の水壺の下に手紙を入れるが、新治じゃなく、信頼できる人に、来て貰うようにと書いてあった。

千代子が、浜に来て、新治に帰ることを伝え、噂の元は、私だと言ったが、舟のエンジン音で消されてしまった。

海女が昼食中に、行商人・近江屋が現われ、海女にアワビが一番多く獲った人にハンドバックを進呈すると言う。結果発表で、新治の母は、18はい、初江が20はいで勝利する。新治の母が、照爺の家に来たとき、照爺か逢わなかったお詫びと言って、ハンドバックは、初江から贈られた。

歌島丸は、照爺の持ち船で、新治と安夫が訓練を受けるため、乗り込む日に、初江は、新治の母に、届け物を預ける。届け物は、写真とお守りであった。

歌島丸は、暴風雨に遇い、ワイヤーが切れ、元に戻すため、新治は、荒波を命がけで泳ぎ、命綱をブイに括り付ける。

千代子から来た手紙で、噂をばらまいたのは、私ですと書いてあった。千代子の母は、海女たちを連れて、照爺の家に訪れると、初江の婿は、もう決まってる、新治やと言いきった。

これ以後は、第一作品との脚色点の違いを挙げる。

第2作品

映像のスタートは、島の全景の空撮の画面からタイトルが始まり、ナレーション

で島の特徴が紹介される。次に、蛸漁舟の画面からスタッフ・キャストが流れる。家に帰った新治は、母から初江の名前と村で屈指の金持ちの宮田照吉の娘であることを知る。

話題は、初江のことになり、照爺の跡取り息子が死んだため、養女に出てた初江を島に呼び戻されたことを知る。いずれは、婿をとることになる。母が、新治に、初江の婿に成るのは、筋違いと言われた。

監的哨で、偶然、初江と会うが、初江が蝮に噛まれ、新治は、噛まれた場所から、毒を口で吸う。初江をおんぶして、血清を打つために、行く途中で、死んだら婿さん〔川本安夫〕が困ると言う、初江は、そんなの嘘やと言う。

嵐の日の監的哨の噂は、皆に知られ、新治と初江は、困っていた。

海は嵐で、照爺の持ち船の命綱がきれ、照爺は、だれか命綱を元にする奴は、居ないのか、娘の尻を追い回すやっはいるが、と喚き回った。新治は、照爺の言った事に腹が立って、俺が行くと言って、荒波を泳いで、命綱を元の状態にした。照爺は、初江の婿は、もう決まっていると新治の名前が出てきた。

新治が成人になったら、結婚さすと言った。

新治と初江は、八代神社にお礼まいりし、二十歳になったら一等航海士の免許をとる。免許が取れたら、結婚して良いかと言った。

第3作品 昭和46年度芸術祭参加作品

映像のスタートは、島の全景の画面からタイトル・スタッフ・キャストが流れる。蛸漁舟が浜へ寄港。新治は、浜で見覚えのない少女に会う。

あくる日も蛸漁へ、昼めしの時、照爺が娘を呼び戻した話が出た。照爺のところは、女四人と男が一人で、上の三人は、嫁にいったが、末娘は、養女で、一人息子が死んでから、初江を呼び戻して、婿取りさせることに成ったと聞く。

新治は、給料袋を探していた。そこへ新治の母に給料袋を渡した初江が来た。新治が初江に川本安夫が婿になることを聞くと、初江は、大笑いした。

うそやがな。あんまり笑ったので胸が痛いと言う、新治が手でさすってやり、そこで二人はキスをする。

監的哨の噂になる出来事は、映像と音楽のみで表現している。

今日、浜で貝を拾ったと見せて、二人は、乾いた肌着や衣服を着て、貝を初江に渡す。そしてキスをする。噂は、皆に知られたが、新治は、照爺の船に乗り、嵐で切れた命綱を、泳いでつなぎ、船を救った。

照爺は、洗濯している新治の母に、新治を婿に迎えると皆の前で言った。

新治と初江は、灯台長の家にもついでいき、灯台から、海を見て船が進んで行くのを見る。少女の目には、微笑みが浮かんだ。

第4作品

映像のスタートは、島の全景の画面でタイトルが出て、水汲みをする少女の画面で、島の状態をナレーションで説明する。

新治は、水を運ぶ少女を見かけた。新治が面倒みて、水を運ぶ画面からスタッフ・キャストが出る。

灯台長の娘、千代子は、新治にお土産があると言って、ライターを出し、着火して、炎は、情熱、私のハートでしょう。それを初江も聞いていた。

途中で待っていた新治は、初江に声をかけるが、無視し下って行く、新治は後を追う。初江に、どないしたんや、オコゼのトゲが刺さったんや、新治は初江の指を口で吸うてやる。

監的哨の出来事のあと、嵐がやんで、千代子は、監的哨から、新治が初江をおんぶするのを見て、安夫に告げ口をした。

風呂屋で、照爺が、初江の噂を聞いた。家に帰った照爺は、初江に明日から、家を出ないようにと言う。

千代子は、新治の噂を聞き、家から追われる様に、島を旅立った。

蛸漁の船長が、お客をつれて、新治の家に来た。日出丸〔名前が違う〕の船長が、今度新治を日出丸に乗って貰おうと言う。嵐の中で、照爺の船を救う。

新治は、もとの蛸漁にはげんだ。照爺は、初江の婿は新治に決まってる。

新治と初江は、八代神社にお礼の参拝をした。そこへ蛸漁の船長が、頭が痛いので代わってくれと、言われて行きかけると船長は、嫁はんを置いて、いくのかと言われた。二人で漁にでた。

第5作品

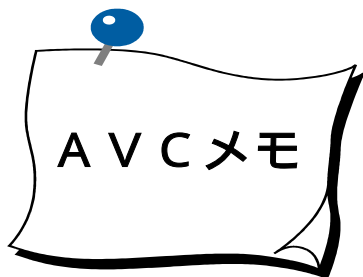
映像のスタートは、初江が海中から現われ、島全体の画面で、タイトル、新治の蛸壺漁の画面で、スタッフ・キャストが出る。照爺が呼び寄せた初江が海から上がって海女の集まる所へ。蛸壺漁の船では、初江の噂をし、ナレーションで、歌島は人口1400、周囲一里に満たない島であると紹介される。

港に帰った新治は、競りに蛸を持って行った。そこに初江がいて、競り人からめっそうか、きろかどっちやと、聞かれこまっていたとき、新治がめっそうと教えた。監的哨の噂で、初江と新治は、こまっていた。照爺の船で、航海に出た。そのころ、八代神社に初江がいて、新治をお守りくださいと祈っていた。そこへ新治の母も来た。新治は、嵐の日に照爺の船を救う。

海女たちは、みんなで、照爺の家に行き、初江の婿のことだと言うと、初江の婿は、新治や、新治と安夫を船に乗せ、試したんやと言った。

新治と初江は、八代神社にお礼参り後、監的哨に行き、初江は、新治に貝殻を見せ、新治も写真を見せたが、初江は、自分の写真が新治を守ったと考えたのである。新治は、あの冒険を切り抜けたのは、自分の力であると思った。

全体的には、脚本家により、言葉のやり取りは異なるが、ストーリーは原作が
生きている。私もビデオ映像を制作しているが、見てくれる人が、同じじゃない
かと、思われたいためには、脚色を考えて、作ることが必要である。



SSDとは

竹田 幸男

SSDとは、Solid State Drive (ソリッド・ステート・ドライブ)の略語で、HDD (Hard Disk Drive = ハードディスクドライブ) に代わって、より高速にデータの読み書きができる装置です。価格が高いために、まだ全面的にHDDを代替するまでには至っていませんが、値段の低下と共に次第に普及するものと思われます。

ドライブという名前が付いているので、動くもの、のような感じがありますが、高速で円盤が動いているHDDは正にドライブですが、SSDは動くところが全くありません。半導体があるだけです。それでもハードディスクと同じような目的に使うのでドライブという名前が付いています。

種類は大きく分けてRAMディスクを使うものとフラッシュメモリーを使うものがありますが、RAMディスクを使うものは電源が必要で、電源が無くなると記憶データが消えてしまうので、今はもっぱらフラッシュメモリーを利用したものが使われています。フラッシュメモリーは、SDカードや、USBメモリーに使われているのと同じような半導体で、電源が無くても長期間記憶が残っています。メモリーへの書き込みの速度はHDDより遅いと言われますが、その代わりデータを多数まとめて一度に記録できるので、結果的にはHDDよりも早く読み書きが出来ることとなります。

SSDは半導体ですから動く部分が無いので落下や振動に強く、また重量も軽い、等の特長から、ノートパソコン等携帯用に有利です。

パソコンのCドライブにハードディスクの代わりにSSDを使うと、スイッチを入れてからパソコンを使えるようになるまでの時間が大幅に短くなることを体感できるでしょう。最初の頃は色々なトラブルがあったようですが、次第に改良され、今は問題なく使用できるようになっているようです。SSDのメーカーによっては、ハードディスクを外してSSDに交換するためのソフトが用意されて、手軽にHDDからSSDへと交換できるようになったキットも用意されています。まだ値段的にはHDDより高いので、(128GBのもので10,000円ぐらい、HDDならば3TBぐらいのものが買えます)、128GBでは、少し容量が小さいので180GBぐらいを使って、それでもソフトウェアの一部やデータは追加

のHDDの方へ移すなどの工夫が必要でしょう。

私は編集用のパソコンにSSDを使い、Cドライブとして180GBのSSDを、Dドライブとして3TB（テラバイト）のHDDを2個、レイド1を組んで使っています。編集用ですから余り多くのソフトは入れず、メインの編集用ソフト以外はできるだけDドライブへインストールして、Cドライブを軽くしています。編集データは、すべてCドライブに入らないようにしてDドライブに納めています。このように早さを必要とするデータはSSDのCドライブに、大容量の映像データはHDDにと、それぞれの得意を生かせるように使っています。 ■